

## 付録K マニュアル Web 閲覧サービス

2005年4月6日よりSR11000 マニュアルの Web 閲覧サービスを開始しました。当サービスでは以下のマニュアル（日本語版 及び 英語版）を公開しています。

- ・ 最適化 FORTRAN90 言語
- ・ 最適化 FORTRAN90 使用の手引
- ・ 最適化 FORTRAN77 言語
- ・ 最適化 FORTRAN77 使用の手引
- ・ 最適化 C 言語
- ・ 最適化 C 使用の手引
- ・ 最適化標準 C++ 使用の手引
- ・ 数値計算副プログラムライブラリ MSL2 行列計算
- ・ 数値計算副プログラムライブラリ MSL2 関数計算
- ・ 数値計算副プログラムライブラリ MSL2 統計計算
- ・ 数値計算副プログラムライブラリ MSL2 操作
- ・ 行列計算副プログラムライブラリ MATRIX/MPP
- ・ 行列計算副プログラムライブラリ 疎行列解法 MATRIX/MPP/SSS
- ・ ベクトル並列型スーパーコンピュータ SR11000 チューニングガイド  
（日本語版のみ、2005年5月30日公開）

利用にあたっては次の点にご注意ください。

- ・ マニュアル Web 閲覧サービスの利用は、スーパーコンピュータの利用が認められた利用者本人のみに限定しています。
- ・ マニュアルの印刷・コピーは、その利用者個人がスーパーコンピュータ利用に使用する限り認めます。

なお、マニュアルの Web ブラウザによる閲覧は sr11000-s へのログイン（利用者番号・パスワードが必要）とポートフォワーディングの設定が必要となります。以下に閲覧方法を説明します。

### Web 閲覧方法

SSH による sr11000-s への通常のログインと、SSH のポートフォワーディング機能を用いて、ローカルホストの特定のポート\*宛の通信を "manual" マシンのポート 80 番に転送します。以下の例ではローカルホストのポートに 8080 番を使用しています。

※ローカルホストのポートは 1024 番以降の空いているポートであれば、他のポートでも構いません。

### UNIX, MacOSX の設定例

ターミナルに次のコマンドを入力します。（下線部は適宜変更してください。）

```
ssh -L 8080:manual:80 sr11000-s.cc.u-tokyo.ac.jp -l p07xxx
```

8080 : ローカルホストのポート番号  
p07xxx : 利用者番号

次にパスワードを入力し sr11000-s にログインします。sr11000-s にログインしたままウェブブラウザで次の URL を参照してください。

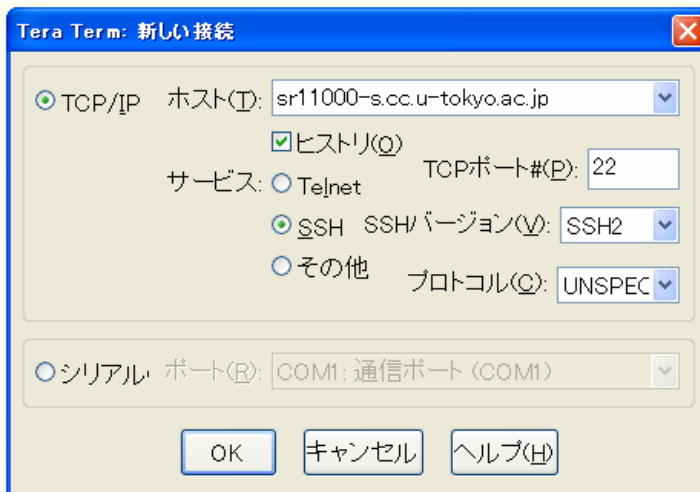
- 日本語版マニュアル  
<http://localhost:8080/manual-j/index.html>  
<http://127.0.0.1:8080/manual-j/index.html> (MacOSX はこちら)
- 英語版マニュアル  
<http://localhost:8080/manual-e/index.html>  
<http://127.0.0.1:8080/manual-e/index.html> (MacOSX はこちら)

※ローカルホストのポート番号を変更した場合は、URL 中の"8080"を変更したポート番号に修正してください。

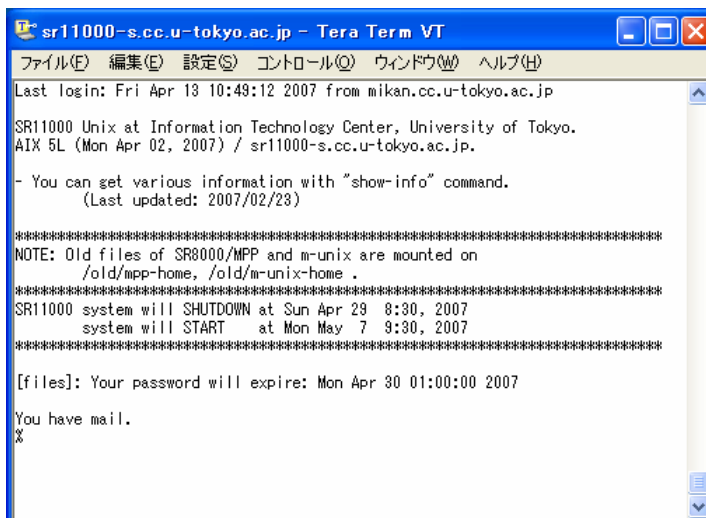
## Windows の設定例

UTF-8 TeraTerm Pro with TTSSH2 を使用した例

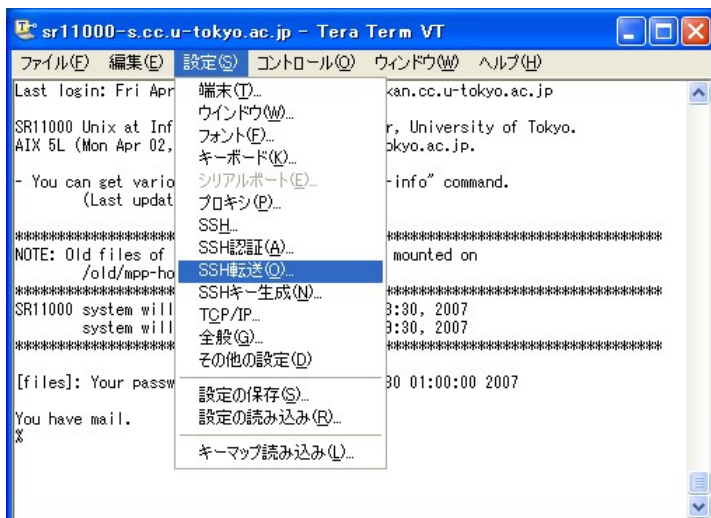
UTF-8 TeraTerm Pro with TTSSH2 を起動し、sr11000-s にログインします。



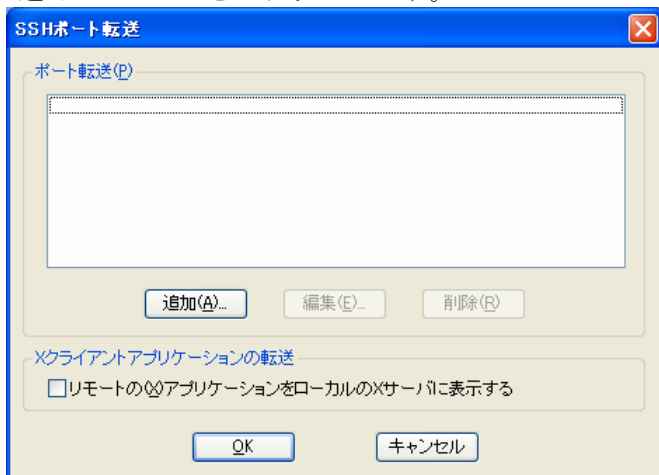
(ログイン後の画面)



メニュー [設定]-[SSH 転送...] を選択します。

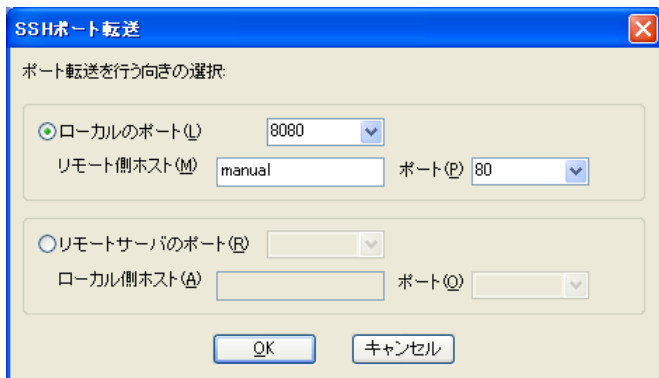


"追加..." ボタンをクリックします。

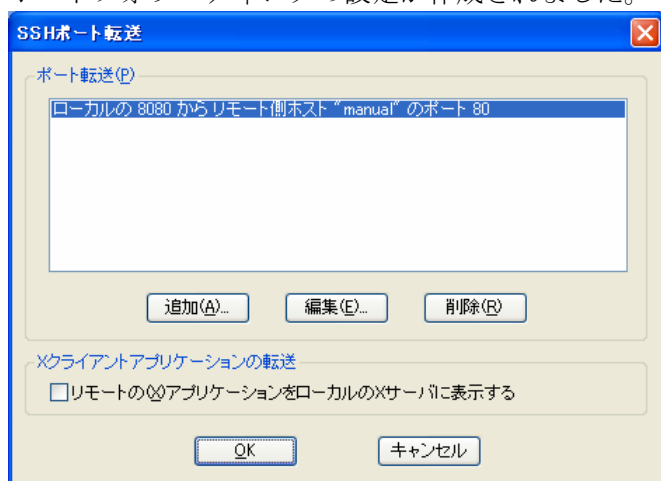


以下のとおり設定し, "OK" ボタンをクリックします。

ローカルのポート "8080" (→ 1024 番以降の空いているポートを指定する)  
リモート側ホスト "manual", ポート "80"



ポートフォワーディングの設定が作成されました。"OK" ボタンをクリックします。



sr11000-s にログインしたまま、Web ブラウザで次の URL を参照してください。

- 日本語版マニュアル  
<http://localhost:8080/manual-j/index.html>
- 英語版マニュアル  
<http://localhost:8080/manual-e/index.html>

※ローカルホストのポート番号を変更した場合は、URL 中の"8080"を変更したポート番号に修正してください。